

五九 シベリア・ソヴェト中央執行委員会への電報

ツェントロシビーリの決議*を全面的に承認する。防衛を本格的に組織するために、徴発によっても、食糧その他の物資を貯蔵するようおすすめる。当地で、きょう、各国大使と話し合いを始めるはず**。いまや、どんな保証も信用をおけないことは明らかであり、唯一の確実な保証は、われわれ自身のしっかりした軍事的準備だけである。

レーニン

1918年4月5日に執筆

1942年に『レーニンスキー・ズボールニク』第三四巻にはじめて発表

タイプした写しによって印刷

事項訳注 P624

* 1918年4月5日朝の日本軍部隊のヴラヂヴォストック上陸についてシベリア・ソヴェト中央執行委員会の採択した決議をさす。この決議では、日本政府の不法行為にたいして抗議が表明されていた。シベリアに戦時状態が布告され、すべての地方ソヴェトはただちに赤軍の編成強化にとりかかる義務を負わされた。

ツェントロシビーリ——シベリア・ソヴェト中央執行委員会のこと。1917年10月16日(29)日10月24日(11月6日)にイルクーツクでひらかれた第一回シベリア・ソヴェト大会で選出された。シベリアのソヴェト権力が一時倒された(1918年夏)のち、ツェントロシビーリはその活動を停止した。

**日本軍部隊のヴラヂヴォストック上陸にかんするソヴェト政府とアメリカ、イギリス、フランス三国政府との交渉をさす。この交渉は1918年4月5日夜にひらかれた。

日本軍陸戦隊のヴラヂヴォストック上陸を伝えるソヴェト政府の発表は、1918年4月5日に書かれて4月6日の新聞『プラウダ』、『イズヴェスチヤ』に掲載されたが、日本軍の侵攻を撃退し、国内における彼らの手先や共犯者どもと容赦なくたたかうことは、ソヴェト共和国にとって、全ロシアの勤労者にとって、死活の問題であると述べていた。1918年4月7日、レーニンはヴラヂヴォストック・ソヴェトへ指令を打電し、そのなかで、侵入軍はかならず攻撃してくるだろうと警告し、一瞬の遅滞もなく外国の武力干渉とたたかう態勢をととのえるよう極東の共産主義者に要求した(本全集、第27巻、232ページを参照)。

六〇 シベリア・ソヴェト中央執行委員会へ

ヤコヴレフの報告を受け取った*。戦闘準備と動員の諸計画を承認する。前進したら、抵抗せよ。陸海軍人民委員部に伝えておいた。われわれは非常に逼迫しているが、資金を送って、援助につとめるつもりだ。

もっと頻繁に状況を報告してもらいたい。

レーニン

1918年4月6日に執筆

1945年に『レーニンスキー・ズボールニク』第35巻にはじめて発表

手稿によって印刷

* シベリア・ソヴェト中央執行委員会議長エヌ・エヌ・ヤコヴレフは、日本軍部隊のヴラヂヴォストック上陸におうじてその侵入軍を撃退するための対策をレーニンに報告した。